11月12日 土曜日 11日発行
昭和30年 西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646番
直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13
電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3276号 （昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年6月27日 国鉄特別扱承認 第232号）
（中華郵政台字第637号執照登記為第一類新聞紙・内政内鎖誌報傷内台誌字第0136号）

4版

あすの暦 11月12日（土） 旧 9月28日
（月齢・日出入・月出入・満潮・干潮）27.3 前後6.12 4.37 3.54 3.00 3.55 3.21 9.40 10.5（中潮）

天気予報 今晩 北の風晴。明日 北東の風晴、冷えこむ。

『代行委』めぐり激論
自由党首脳会議もめる

自由党首脳会議は十一日午前十時二十五分から渋谷松濤の総裁公邸で緒方総裁、石井幹事長、大野総務会長、水田政調会長、池田勇人、佐藤栄作、林譲治、益谷秀次、松野鶴平の諸氏および塚田副幹事長が出席して開かれ、代行委員制を中心に合同問題について活発に意見を述べあった。

席上まず石井幹事長、大野総務会長から前日の四者会談の経過を述べ『十五日に結党大会をやるためには公選を一時延期し、その間代行委員会で新党を運営する以外になく、これは解党公選の党議を崩すものではないから四者会談では一応了承した』と報告した。

これに対し池田、佐藤、林、益谷氏ら主体性派から党と総裁は一体であること、公選が技術的に遅れるなら結党も公選できる時期まで延ばすべきことなどを主張、緒方総裁がさきに個別に首脳を招いたあと反対意見を考慮せず、また首脳会議を開かずに代行委員制に踏切ったことは納得できないとして激しく追及した。

最後に緒方総裁から『総務会、両院議員総会などで論議を尽し正式に決めたいが、代行委員制は党議に沿うものである』と重ねて強調、党を割らずに挙党一致の行動をしたいと要請したが、議論は平行線をたどった。

【写真は自由党首脳会議、右から池田、林、益谷、石井、松野、緒方、大野、佐藤、水田、塚田の諸氏】（渋谷総裁公邸にて）

大局に立ち推進を
文相が首相に進言

松村文相は十一日午前の閣議終了後、首相官邸で河野農相立会いのもとに鳩山首相と会見、約四十分にわたって保守合同問題について『大局的見地から進めてほしい』と進言した。文相は会見後次のように語った。

現在の保守合同の進め方はあまりにも目先にとらわれすぎている。このように争いをはらんだものの合同では近い将来かならず破綻がくるだろう。そうなると保守全体が社会党の袋だたきにあうのはわかりきっている。このような考えから首相に大局に立って保守合同を進めてほしいと進言した。首相はとくになにもいわなかった。

外相会議 軍縮討議に入る
軍縮と原爆禁止
先ず査察と管理
モロトフ外相提案 ダレス長官反論

【ジュネーヴ十日発UP＝共同】四国外相会議の十日目の会議は十日午後四時（日本時間十一日午前零時）から開始され、午後七時半（日本時間十一日午前三時半）終了した。この日の会議では第二議題の軍縮問題がはじめてとりあげられた。

この日モロトフ・ソ連外相は最初に発言し、軍備削減と原子兵器禁止に関し要旨次のような提案を行った。

一、米国、ソ連、中共の三国は現有兵力を百万－百五十万に削減し、英国およびフランスは六十五万にそしてその他の諸国の兵力は十五万－二十万に削減する。

一、前項の兵力削減が七十五％達成された時に原子兵器の全面的禁止の実施に移る。残余の二十五％の兵力削減期間中にすべての原子兵器を廃棄する。

一、原子兵器の全面的な廃棄が完了するまでの間に、原子兵器を防衛目的以外には使用しない旨の協定を締結する。

一、原水爆実験の禁止。

一、原子兵器禁止のため効果的な国際管理機構の設立。

一、アイゼンハワー米大統領の空中査察案を含み東西双方から出された一切の軍縮提案を"考慮する"ことに四国外相が同意する。

一、四大国が他国に対し原子兵器を使用する最初の国とならないことを宣言する。

【ジュネーヴ十日発ロイター＝共同】ダレス米国務長官は十日の四国外相会議で軍縮問題にたいする米政府の態度をつぎのように明らかにした。

一、軍縮計画の進展は軍縮を実施するための効果的な査察と管理制度が考案されるかどうかにかかっている。

一、核兵器を適切な管理下に置かなければ原子力戦争の危険は著しく増大する。この意味で国連総会の決議によって創設されるべき国際原子力機関は大いに貢献することができよう。

一、アイゼンハワー米大統領の空中査察と軍事情報交換にかんする提案は軍備の管理と縮小への健全な基礎を築きあげようとするものである。大規模な侵略には奇襲攻撃がつきもので、この奇襲攻撃の可能性を除いてしまえば大規模な侵略は考えられない。

十日、スイス大統領主催の昼食会席上握手するダレス米国務長官（左）とモロトフソ連外相（右）（AP＝共同電送）

東京のエトランゼ ⑧
ドイツ
バーバラ・マリア・フランク嬢（ファッション・モデル）

○…生っ粋のドイツ娘だが一度も祖国の土を踏んだことがない。四十年前、札幌農科大学教授として来日したとき、彼女の両親も一しょに日本に住みついた。当のバーバラ嬢は横浜生れの浜っ子、横浜のクリスチャン学校を卒業して伊東茂雄氏のモデル講習会に入り、現在ではモデル・グループに属している。十九才になったばかり。

○…浜っ子のくせに『日本語は八つくらいまで全然話せなかったが、近所の子供と遊んで自然に覚えたのだそうだ。

○…日本の女のヒトは外人に比べると気持がやさしく、キレイだから好きだそうだが、男のヒトは『性質がイギリス人に似ているところがあるんじゃないかしら。好きな外人はイギリス人、でも結婚の相手はやっぱりドイツ人』というから男性観はなかなかやかましい。

○…名所では日光、料理は天ぷら、うなぎ、焼鳥、お寿司が好きだそうだが生魚はダメ。特に貝類とアナゴの寿司が大好物だそうだ。芸ごとではお琴とお茶、琴の音はとてもキレイだとおっしゃる。

○…写真をとるので寿司屋につれてゆくと、器用な手つきでニギリをつまみ、『ショウガある？』となかなかの通人ぶりをみせた。

青い眼の浜っ子

春夏秋冬
ひかれ者の小唄

党首問題をめぐって、もみにもんだ保守合同劇も、緒方自由党総裁が『代行委員制』に踏み切ったことによってようやく幕切れに近づき、いよいよ十五日には新党結成の運びになった。しかしこの『代行委員制』には自由党の吉田派はもちろんのこと、民主党内の旧改進党系や鳩山直系にも根強い反対があり、なお一波乱まぬがれそうもない。

吉田派、鳩山直系といい旧改進党系の反対といってもハラの底を割ってみれば、この態勢で保守新党が結成されれば、自分達の主張は破れ、新党における指導権も奪われ、鳩山直系では大臣の椅子から降りなければならぬ者も出てくるので、いわば"ひかれ者の小唄"をこのクソ面白くない合同劇のフィナーレに歌っているわけだ。吉田茂一の子分佐藤栄作氏は九日深夜、緒方総裁に電話で『自分一人になっても全面的に反対し続ける』とタンカをきったそうだ。その意気たるやまことに壮であり、最後までその信念を堅持し、自由党の"主体性"を維持するならば当然新党準備会から脱退し、新党に参加しないことになるが、そこまで踏み切れるかどうか疑問である。他の鳩山直系や旧改進系もまた然りである。

要するに幕切れで少しでも暴れて、あわよくば自分達の主張を一つでも余計いれて貰い、やがて生れる新党で指導権を握りたいさもしい魂胆に他ならない。

しかし国民の大多数は保守合同して鳩山内閣を強化し、鳩山政権の持続を願っているのでもなければ、緒方氏が新党総裁になることを願っているのでもない。保守新党の出現によって政局の安定を図り、新党の掲げる政策を強力に実行し、国民の生活向上を図って貰いたいのである。派閥抗争に浮身をやつす現在の保守党には国民はあきあきしている。もし、この旧弊が改められなければ保守新党が誕生しても意味はないであろう。

堀内、三浦両大使本決り

政府は十一日の閣議で駐国府大使に堀内謙介氏を、また新設のアフガニスタン大使に三浦和一氏をそれぞれ任命することを正式に決めた。来週早々認証式を行って発令の予定である。

米陸軍長官 極東を訪問

【ワシントン十日発AP＝共同】米陸軍省は十日、ブルッカー米陸軍長官が近く極東訪問を行う予定だと発表した。二十九日ワシントンを出発、約一ヵ月の予定で日本、韓国、台湾などを訪問する。

十四日本調印
日米原子力協定

政府は十一日の閣議で濃縮ウラン受入れのための日米原子力協定の本調印を十四日ワシントンで行うことを正式に決めた。同調印は十四日午後三時半（日本時間十五日午前五時）井口駐米大使とシーボルト国務次官補代理の間で行われる。

地獄耳
西岡長崎県知事

朝から晩まで九州や"わが長崎のために"上京してはカケズリ回っている西岡竹次郎氏（長崎県知事）にバッタリ出会った。『本多市郎氏が、長崎から選挙区を、元の東京六区に変えるらしいと、真鍋儀十氏が心配していたがホントウですか』ときいてみた。

西岡氏『本多君は航送船問題に反対した。本多君が反対しても出来上りました。知事を始めその他の選挙母体を作っているから選挙区は変えないだろう。どうだってカマワヌですよ』とアッサリ。次はご自分も出馬気配。

一びんのウニを取り出し『これは日本一のウニですよ。鮎川義介氏から"これこそホン物のウニで、下関名物も及ばぬ"長崎のウニはこのような上等品です。宣伝がヘタですから下関側に負けている。ウニの原料は対馬、五島等わが長崎県が供給しているんです。誤解しないでネ…』と長崎宣伝を一クサリ。

本多氏を黙殺

市況
押目買反発

ダウ平均の四百円台割れからようやく売物は一巡となり、大証券も緩慢ながら押目買に出ているので市況は全般に小反発の場面となった。特定株は引続き売物薄の折からまばら買が続いて軒並み一－四円高とやや しっかり。雑株は砂糖株が軒並み反発に転じたあと、製紙、化繊、化学の一部など一両日売られたものが小口の押目買に三－五円から十円がらみ引戻し、その他も概して小高い商状。しかし大証券はまだ積極買を手控えているため、商内は概算五百万株と振わなかった。

▽高い株＝横浜糖十一円、三井不十円、東洋工業九円、台糖、太平糖、野田、東京機械七円、第一セメント、北海製罐、白木屋、六円

東京株式仲値
□新株落 △配当落
（11日前場終値）

特定銘柄							
東海上	238	日立	78	三菱鉱	50	台糖	252
郵船	58	東芝	63	古河鉱	80	明糖	114
新三菱	71	三洋電	298	同和鉱	138	甜菜糖	117
日清紡	257	松下電	168	住友炭	61	野田	203
味の素	295	八電	179	三井山	58	森永	175
三越	281	東洋紡	168	北海炭	64	明菓	176
三菱地	480	鐘紡	128	日鉄鉱	390	日水産	101
平和不	210	富士紡	121	商船	44	昭和産	117
日東化	101	大日紡	85	三井船	46	東洋醸	93
日産化	91	日東紡	70	西武	368	合同酒	150
三菱化	123	片倉	32	藤田興	200	三楽	135
三井化	158	東邦レ	130	飯野海	56	大阪糖	159
協和醱	136	帝麻	36	日銀	1850	三井物	159
東合成	14[illegible]	中繊	44	東銀	55	第一物	146
三共薬	170	帝人	167	三井銀	73	白木屋	261
信越化	92	東洋レ	216	富士銀	87	高島屋	103
東高圧	163	三菱レ	141	日証金	70	大丸	一
昭電工	122	倉レ	138	安田火	94	日活	71
日本曹	101	旭化成	397	大正海	88	松竹	209
旭電化	87	山陽パ	150	住友海	80	東宝	1330
三菱造	90	日本パ	125	千代田	75	大映	173
三井造	125	国策パ	145	東電	616	王子紙	241
三菱重	61	東北パ	135	関西電	665	十条紙	281
石川重	89	日毛	236	鋼管	84	本州紙	94
精工	131	帝石	94	日製鋼	68	三菱紙	87
東洋ベ	120	日石	117	八幡	62	北越紙	64
日立造	57	昭和石	164	富士鉄	57	日セメ	155
浦賀	60	東燃	155	神戸鋼	55	磐城セ	265
日本光	137	三菱石	155	日特鋼	104	小野田	90
キヤノ	160	大協石	161	日軽金	162	富士写	152
理研光	58	三井金	110	日金工	74	小西六	107
三菱電	84	三菱金	114	日本粉	129	横浜ゴ	145
		日鉱	111	日清粉	125	旭硝子	168
		住友金	114	日本ビ	172	三井不	778
				朝日ビ	185	三井倉	81
				キリン	205	渋沢倉	一
				宝酒造	127	東洋埠	205

粋人酔筆
「へ」のはなし

[illegible]

……とあるのと、同一人であったらしい。

美作国（岡山県）真庭郡美和村奈良須（ならす）神社の本体は『屁』だと伝えられるとの照会に対し、大正年間同村助役の解答というのが振るっている。『当村は深山の奥なれども風光雄大、人心昔ながらの悠長を保ち、放屁発音においても都会人のセカセカしたるヒー、またはキュウの如き小鳥の鳴声に類するものを全然聞かず、放ては堂々と万年の老杉巨柏も為に屈するばかりに有之候、その匂に至りては春はワラビ、ゼンマイの香をとり入れ、夏はとりわけ屁に親しきエンドウ豆、秋はカキ、クリ、冬は池中のコイ、山ウサギ、キジ、ヤマドリのたぐいを香にまぜて、ホダ火を燃しつつかぎ合う楽しさ、コタツに差向い二八乙女に匂わすに、ワサビ交りの屁を以てするも、山国健児の快とするところ』云々（下略）なるほどいかにも健康そうである。

市山[illegible]

内外抄

民主党九、自由党七などとさっそく新閣員の獅子の分け前争い。心の合同はできそうもない。

◇

吉田派や『党議貫徹派』の委員制反対、その道理が徹るか、首脳部の押しが通るか、みもの。

◇

基地拡張を一ヵ所取止めるとは労相の冗談だったそうな。『止める前にこの冗談がいいたかった』

◇

武力放棄の米・中共会談に台湾を含めるとか、含めぬとか。話にならぬ話はよすがよい。

◇

『二ヵ月分はおろか一・五ヵ月分すら怪しい』とおどす蔵相。座り込むより寝ころぶか官公労組。

ないがい川柳
吉田林司選

平民であればとっくにかなう恋 千代田 南 渡波
石畳引ずって行く千歳飴 新宿 斎藤 耕月
家計簿をつきつけられる二日酔 文京 木村いつ秋
犬の名がジョンで今更きらわれる 千葉 鈴木もみぢ
遠足は降っても生徒連れて出る 杉並 吉岡 幸雁
旅役者小さな恋を捨てて行き 北 松本いはを
ストマイが効いて葬儀屋もうからず 城東 法界坊

投句歓迎 用紙ハガキ（五句以内）住所氏名明記。〆切随意。入賞句に賞金呈。本社編集局川柳係あて。

お知らせ

本紙購読ご希望の方は直接本社販売部に電話、またはハガキでお申込み下さい。なお最寄りの読売新聞出張所にお申込み下さっても結構です。

内外タイムス社販売部
電話京橋(56)〇四三七番

青春無宿 (185)
大林清 作
下高原健二 画

虹への道（二）

『その料理屋というのは？』

次郎は思わず膝を乗りだした。

『小石川の光悦という高級料亭なんだ。財産税にひっかかった元財閥か何かの屋敷を買いとって、戦後はじめた料理屋だそうだが、今度またそのテで伊東に別荘か何か買って、支店を出すらしいんだな』

塩田の落着いた話しぶりが、次郎にはもどかしかった。

『そうすると、母はもう伊東へ行ってるのか、それとも小石川のその店にいるのか』

『それがまだわからないんだ。何よりも先に君に知らせようと思ってそっちの方は調べてないんだよ。神戸からの返事は昨日着いたんだが、今日僕は外まわりをしておって、会社へ出たのは午後だったんだ』

塩田は次郎の剣幕に圧倒されたように、弁解する口調になって、

『電話で問い合わせるにしても、どうせ君に会うんだから、君自身で出た方がいいと思ってね』

『ありがとう、光悦っていうんだな』

次郎はぬぎすててあった上着をひき寄せながら腰をうかせた。

『ここに電話ないのか』

『うん、角の料理屋で借りる』

あわただしく戸口へ立って行く次郎の後から、塩田も立ちあがって来た。

『俺もいっしょに行こう』

返事をしている余裕もなく、次郎は廊下へ飛び出すと、そのまま階段を駆け降りて行った。靴を突っかけて、アパートの玄関を出た時、前からそこにただずんでいたらしい十五、六才の少年が、身軽に躍り出て行手を遮った。

『宇田さんて、あんただろう』

近頃は銀座界隈にほとんど姿の見られなくなっている浮浪児風の少年だった。

『そうだ。何か用か』

次郎は気がせいていたが、この付近のシューシャン・ボーイ（靴磨き）に見かけない顔なので、チャリンコ（掏摸）ではないかと思った。

『そこの三十間堀の角の中華そば屋のところで、光代さんて女の人があんたを待ってるよ。急ぎの用事だからすぐ来てくれって』

『誰にたのまれて来たんだ』

『その女の人だよ。すぐ来てくれないといなくなっちまうってさ』

少年はそういうのといっしょに身をひるがえして走りだした。

次郎が不審に思ったのは、数時間前四丁目の角でわかれた光代が、何の用事でひきかえして来たかということだった。浮浪児めいた少年を使って呼び出しをかけるなども光代らしくない。ひょっとしたらここに張り込んでいたという愚連隊が、光代を囮にして自分をおびき出そうと企んだのかも知れない。だが、そこに実際光代がいないとはいいきれなかった。

『どうしたんだ』

後へ来ていた塩田が声をかけた。

『うん、なんでもない』

ともかく小石川の光悦とかへ電話をかける方が先だった。

万案を裏口からはいると、調理場の前の廊下に電話はあったが、折悪しく女中が使っていた。

漫画家がみた漫画ブーム

グループ代表・匿名座談会

横山泰三　杉浦幸雄

雑誌や週刊誌をひらいたとき、あなたはまずどのページから目を通しますか？　いわずとしれた漫画からでありましょう…。ことほど左様に漫画は近代人の座右に忘れられないものとなってきた。今や世はあげて漫画ブームだといわれている。そこで、漫画ブームの正体をウラからえぐってみようというのがこの座談会のねらい。漫画家の各グループから代表的人物に匿名で登場をねがって、思う存分ケンケン・ブーブーしゃべってもらった次第である。

集団、すっかり殿様　だが陽の当る人は十人位

司会　最近は"漫画ブーム"といわれて、漫画家の連中は、みんな陽の当る場所にとびだして来たようだけど。

A　いやァ、陽が当ってるのは漫画集団だけだ。(笑声)

B　集団だって薄ィ[illegible]が射す程度のも何人かいるんだぜ。

司会　大体漫画のグループは今どのくらいあるだろう？

B　まず漫画集団だろう。これが三十七人かな。それから独立漫画派が十四人だね。

C　マンガ・クラブが五人かな。

A　自由人クラブは十人、それに近代漫画がいるな。

D　あそこは四人だ。"あまから"が十人くらいで、あとは長谷川町子や根本進など、フリーがざっと二十人ぐらい。そうすると百人はいるな。

司会　その他に児童ものは？

B　こりゃァうじゃうじゃいるぜ。島田啓三が親分になっている東京児童漫画会や出版美術家連盟など、百何十人いるだろう。

D　その他、投稿者は多いぜ。

C　これがみんな漫画で食ってるんか。われながら驚きだなァ。

A　"漫画ブーム"といわれても仕方ないやね。その上にあぐらかいてるのが漫画集団だ。

D　集団はすっかり殿様になっちまったな。

B　昭和七年ごろ、集団を作った時は、当時の大家に対するレジスタンス精神に燃えていたよ。大家連中が大名遊びしてるのに憤慨してたからね。それが今じゃ文士劇の芝居に出るのに一人十万円かけたりしてるだろう。

C　今度の京都旅行も、旅費の他に二万円だせない奴はオミットされたんだって？

D　もっと若い連中がしっかりしなくちゃァいかんな。

長谷川町子　横山隆一　西川辰美

一頁が一万円　稿料のいい『家の光』『主婦の友』

司会　漫画ブームといっても、これだけ沢山の漫画家がいれば、陰にかくれたのも沢山いるだろう。

B　コーヒー代も払えない奴もいるからね。

C　そうなんだ。漫画集団でも、十人ぐらいには陽が当ってるだろうが、あとは薄陽だというじゃないか。

A　しかし集団に入ると、とたんに稿料が上るそうだな。

B　確かにその傾向があるぜ。結局は、泰ちゃんなんかが一緒だからだよ。スターとコミにされると自然稿料も釣り上げられるわけさ。

C　僕らも数少く書いて生活できればいいんだがね、どうしても悪循環になってる。

A　稿料の一番いいのはどこの雑誌だろう。

D　『家の光』『主婦の友』あたりじゃないか。こちらのいい値でくれるだろう。大体ページ一万円だ。

[illegible]が税込み、そんなと[illegible]とも、集団の西川辰[illegible]スのドラさん』なん[illegible]いう話じゃないか。[illegible]がね。出版社もひどいぜ。加藤芳郎が講談社でページ一万二千円もらってるんだそうだが、彼がある漫画家を紹介したのさ、その漫画家は気が弱いから『いくらでもいい』といったら、翌月もらった稿料が千五百円だってさ。

A　大体編集者が、作家でも漫画家でも育てようとしないんだ。

D　どこの雑誌社でも文春のケツばかり追ってるだろう。見識がないな。

C　このごろは編集者がサラリーマンになっちまって、当らずさわらずでやってる。だから漫画集団にすがりつくことになるんだ。スターを使えば失敗しても自分の責任はのがれられるというケチな考えなんだ。

A　救い難きは編集者か。

B　そうだ、そうだ。(笑声)しかしね、漫画家も集団の後を追ってばかりいないで新しいものを作るべきだな。

C　軽蔑するのは、一つの団体を踏台にして集団に入りたがる奴がいるだろう？　集団が稿料がいいときくと、浮足立つからね。

A　弱き者よ、汝の名は漫画家だ。(笑声)

稼ぎのトップは泰三　女性にもてる杉浦幸雄

司会　稼ぎのトップは誰かね。

B　やっぱり横山泰三、杉浦幸雄じゃないか。泰三あたりが去年で公表四百四、五十万だろう。

A　そんなもんじゃないさ、公表には相当コボレがあるからな。

D　泰ちゃんは"社会戯評"一枚一万円だという噂だから、それだけで軽く三十万だ。

C　近藤あたりが五十万かな。

D　新人の小林治雄あたりが二十万。集団はてんでに家は建てたし、テレビは備えてるし……。

A　子供マンガはこれまた凄い[illegible]

加藤芳郎　根本進

[illegible]

A　どれくらいだろう。

A　そうねェ、五十代になると[illegible]

D　ありゃァニコヨン漫画だもの。明日になるとくさるから[illegible]

D　そりァ堅い。(笑声)

司会　ところで漫画家の生命は[illegible]

珍習奇習　(南米)　無茶なスポーツ

南米パナマの山間地帯にインディアン系の農耕民族ガイミ族というのがいる。かなり文化もすすんでいて、ふだんはおとなしく百姓仕事に従事しているのだが、刈り入れもすんでいわゆる楽しいスポーツ・シーズンがくると、とんでもないことをおっぱじめる。『バルセリア』と称する恐るべきゲームだ。

これはまさに『楽しい』なんていうスポーツではなく、往々にして相手の足骨を粉砕し再起不能に陥いれるほどの、凄いスポーツなのである。写真をおみせすれば一目瞭然なのだが、要するに太い棍棒を相手のくるぶしめがけて、ヤッと投げつけるのである。この場合、投げつけられる方は、相手に背中を向けていて、ほんの瞬間の気配により、とびあがるか、とびさがるかして、約十米後方から飛んでくる棍棒の難をさける。無事通過すると、こんどは、こっちが投げつける番となる。

こうして交互に採点し、たまには向いあって同時に投げつけっこしたり総計点において勝った方が万歳を叫ぶのである。いや負けた奴は足骨をこなごなに砕かれて、うんうんうなっている。というだけならいいのだが、なんとこのスポーツに熱狂的な彼らは、個人対個人、一村対一村でカケをする。

その賭けが、財産だけを賭けるのならまだしも、女房を賭け子供を賭けるのだからたまったものではない。かくてこのスポーツ・シーズンの終りが結婚シーズンというわけで、勝ちとった女房子供を村に家につれ帰った者たちが、引きつづき結婚式をあげるという、めでたい次第になるのである。妙なところもあるものではないか。(作)

自由の女神の裾の下　⑤五番街

五番街の"美しきスト"

まさに"虚栄の市"　震える男性のフトコロ

○…ニューヨーク五番街といえば目抜きも目抜き、ブロードウェイを知らなくても、ここを知らなければ流行に遅れると※いうほどの大目貫き通り。つまり世界的服飾流行の中心地である。パリの最新デザインもここで製品化されなければ、まずモノにならない。五番街で売れるものがニューヨークで売れ、米国で売れて世界に拡がるという寸法。いつのころからそうなっちまったのか、とにかくこれが流行の公式循環なのだそうでアル。

○…女に取っては虚栄の市、いや、アコガレの巷。男に取っては財布の敵、いや、あるいは将を射んとするためのバカらしい散財場所。それにしても五百㌦もするイヴニング・コートやスーツが面白いほど他愛なく売れるのだから、さすがは"持てる国"とヒガみたくもなろうではないか。もっとも、漫画のブロンディ的風景はザラで、亭主はあくせく稼ぎながら、女房が片〃端から五番街に注ぎ込むという悲喜劇もコレ女上位の国なればこそ。これが持ち回って、東京は銀座の"おしゃれ横丁"あたりで同じ現象を呈するとは、いやはやアナ恐しい。

○…ところがでアル。この五番街でプラカードをおっ立てたミメうるわしのご婦人によくぶつかる。流行の中心地もアド・ウーマンを濶歩させるほどの販売競争…と思いきや、プラカードの文字は『この店の品を買わないで下さい』『私たちに生活の保証を与えよ』てな紅い気焔の文句、つまり、店の売り子たちが賃上げストのデモをやっているわけで、それも物々しい行列ではなく二人三人ときさやかなもの。しかしこの効果はテキメンで、この"美しきスト"のある限り、客は絶対その店に足を踏み入れない。相互扶助精神の発露であって、日本ではみられない図。きらびやかな流行の裏にはかくも涙ぐましい生活の闘いもみられるのである。【写真は冨田英三氏撮影】

モダン歳人記　道風青柳硯

康保元年十二月二十七日、中国風の書道を日本化して三蹟の一人といわれた小野道風が没した。彼の書は上代の書風を代表するもので後世に影響するところ多かった。彼が青柳の糸にとび付く蛙を見て発奮し、書の奥義を極めたことは昔の小学校の本にもあることだが、芝居に出てくる道風は蛙のとび付くのを見て宮中の変事を察するという忠義話になっている。

竹田出雲の『小野道風青柳硯』によると天下を我ものにしようとした橘逸勢は道風を味方にしようと大工の駄六に旨をふくめる。道風は道で蛙の飛び付くのを見て変事を察するが、駄六のいうなりになり、わざと逸勢の味方になる。道風は弟頼風が女御の妹女郎花と恋仲であるため、宮中に関係があるから密文を書けと逸勢方にいわれ、無筆の道風は困るが、乳母の祈願で思うままに字が書けるようになる。

逸勢は奸策をめぐらすが遂に風等の忠臣のために亡ぼされる。この芝居は五段物だが、今では一の場面だけが上演されるので筋は一向に判らない。ただ何となく客が、役者の伎芸を楽しむものになってしまった。(鮭)

風流世界譚　…(アメリカ)…

アイゼンハワー大統領の病気以来、世間の話題は明年の大統領選挙に集中してきました。民主党か共和党かというわけですが右と左という話題は、必ずしも政治問題に限らないようで、今夜も上流婦人のサロンで、薬晴らしい会食のあと、こんな雑談が主人の下着をはかせてやるんですもの』と大いに甘いところを披露するので、口惜しがったB夫人、『ウチは断然左側よ』に、A夫人が訳を訊くと、『あの人、左ぎっちょですもの』で、一同大笑いのうちにとの問題のカタがつきそうになりました。すると今まで黙って聞いていたカー夫人、何でも人の意見には必ず反対したがるクセがあるのに、この問題ばかりは右も左も意見が出てしまったあとなので、仕方なく引込んでいるかと思いのほか、一ト膝のり出して得意そうに、『あのウ、宅の主人はゼッタイに中立ですワ』

東海毒婦伝　青とかげ　(126)

野沢純　土端一美画

箱根馬子唄(七)

子にも衣裳髪かたち―というが、美女はどんな格好をしても美しい。また美しい。

髪を解いて、ざっと櫛巻きにあげると、今までの娘姿とは違った、みずみずしい妖艶さが匂ってきた。

しかも匕首を口にくわえたところは、凄いばかりである。

同時にそれは、おりう自身の心の貌をも示していた。

日本橋の豪家に生れ、多くの奉公人にかしずかれ、お乳母日傘で育った娘が、安政の地震を境に、この激変があったとはいえ、思えば奇しき変貌ではある。

この広い世に、早瀬一人を男と頼み、肌も操もささげてきた、そのいのちを、見知らぬ旅の渡世人に、犯されてしまった瞬間から、おりうの心は変って来ていた。

心の中に、知らず毒婦が棲んでいた。

乱れた裾、崩れた帯をしめ直した頃は、心の底に幾分か、落着きを取り戻してきた。

人ひとり、生れてはじめて殺めたにしては、ふしぎなくらいの落着きだった。

時刻は、日の出から日没までときまっている。関所の通行手形も、いつの間にやら何処かへ落してしまった。

堅い当惑が胸へ来た。

願い出てもう一度貰い直すには手続きもあろうし、また手間もかかる。否それよりも、人を殺した今となっては、役人の前へ出るさえもはばかられた。

とつおいつ思案のあげく、おりうはせまい杣道を、ますます深く分け入った。

関所を避けて、裏山道から、ひそかに抜けようとするのである。

人を殺めたその上に、関所破りの罪をも重ねる破目とはなったのだ。

人の世の輪廻(りんね)とは、かかる岐路から別れ変ってゆくのである。

昼なお暗い裏山道の、落葉朽ち葉を踏みしめながら、おりうはふっと立ち止った。

路銀も何処かへ落してしまった事に気がついたのだ。

江戸むらさきに朱金のフチどりをした女持の財布に、十二両となにがし―それで三島まで行けるつもりの路銀であった。

あすの運勢　十一月十二日　高島象山

▲一月生―物事順潮に進展し商繁昌あり改革異動は都合よく進
▲二月生―物事に神経がとがり題を起し易くなお他動的災害求
▲三月生―稼業大事と辛抱強く力すれば自然と向上し利達ある
▲四月生―自己の所信を遂行し目的を遂する商取引円満利達あ
▲五月生―何事も単調に流れ周の和を欠き失望損失を求めやす
▲六月生―信念と努力が並行すば進展し栄昌する面目一新はよ
▲七月生―好転躍進の運気あり商売繁昌し稼業栄達する開業よ
▲八月生―進退に誤算を生じ失損失を引き起す慎重に進退すべ
▲九月生―何事も信用厚く人気あり栄達あるも新規の事は控え
▲十月生―理想の実現して安心福来る開業移転造作結婚は大吉
▲十一月生―目に見て手に取れ苦労と困難あり徒労に期しやす
▲十二月生―利害損得をよく分して心静かに活動すれば平穏な

続 情炎の千代田城 (296)

岩崎栄
寺本忠雄画

水ぬるむ(七)

せまい部屋なのだ。襖が倒れた隣りを入れても十畳に足りぬ。正面と右手と、一方から一度に二人は斬りかかれぬのだ。

半兵衛は刀を正眼に、笑いながら、

『新井の殿様さま! これからゆっくりと、人間料理をごらんに入れますぜ。ようがすか、注文をつけておくんなせい。三枚におろすかそれとも、片身おろしにして、サシミにして、骨つきはブツ切りの塩焼なんざどうでござんす』

お静が、

『それでは、お料理はそちらにお任せしといて、あたしゃこの、伊豆作さんの手当にかかっていいかしら』

『ああそれだ。うっかりしてた、頼むよ』

『こころえました』

壁の根もとで、郷之助は意識をなくしていた。なんとしても、白石に歪を貰っているところへ、不意にだしぬけの斬り込みだったから、いきなり腰の矢立で、受けて突っ返して、股間を蹴り上げるのがせきの山だった。床に立てかけてある白石の刀を借りるすきすら与えられなかった。

『半兵衛さんを呼んで来るっ』

お静がそういって、懐剣で一人を刺し、一人の腕を斬りつけて置いて、屋根から飛び出したあと、一人で五、六人を、四半刻もあしらい続けていたのだ。首の根を斬られている。左肩もやられている。脇腹も突かれている。右の腕も、左の肘も、右の膝も、横ビンも、深手、浅手、満身の負傷をいままでたえ続けたのだ。だから、半兵衛が来たと思った瞬間に、スウーッと気が遠くなるのをおぼえた。

体がグラグラッと持ち上がって――天井が急に傾斜して、体が深いところへズンズン沈み込んで行く気持で、そのまま前後がわからなくなってしまった。

お静はそっと寄り添って顔をのぞき込む。見開いた両眼の、水晶体が吊り上がって、白眼が気味わるく光っているのを、撫でてやりながら、耳をあてて呼吸を聞き、片手に脈をそっと握ってみる。

『ええいっ』

『来たこら』

ドスンと二人を突き倒して半兵衛が、呼吸も乱さず、もとの正眼で、声をうしろに、

『お静ちゃん!』

『あいよ』

『どうだ、伊豆作、死んでやしめえな、まだ』

『呼吸はありません。脈はまだあります』

『よし! 死ぬなっ、伊豆作! 頑張ってなよ』

白石が、腰の印籠から、

『お静! これを酒で、口を割って服用させなさい』

『はい』

『それから、これを裂いて』

羽織を脱ぎ、白羽二重の裏地を

『これを裂いて、急所だけを縛って――血の出しはなしはいかぬ。よいか、それから医者だ。交竹院がよかろう。ざっと手当をしたら

おまえが飛んで行って、わしからだと申して、絵島殿にな、よいか!』

『わかりましてござんす』

このとき、伊豆作の表がたいへんな騒ぎになっていた。八百定道場からの一連隊が、ワッショイ、ワッショイ、まるでお祭りみたいにあばれ込んだのである。

浪人たちは俄に闘志を失い、浮き足立ってみえた。

『行くぞっ』

半兵衛が積極的に踏み出すと、忽ち二人が、みね打ちをくらって伸び、残ったやつらはバラバラと屋根へ逃げ出した。

劇団蝙蝠座公演　国民文化月間参加の劇団蝙蝠座公演作品第三は、現代フランス喜劇特集公演として二十四日から三日間毎夕六時、八重洲口国鉄労働会館ホールで行われる。演しものはジョルジュ・フェイドウ作、岩瀬孝訳の『坊やに下剤を』一幕と、アンドレ・ルッサン作、鈴木力衛訳『狐と狸』一幕。

ハリウッド 失恋の"タメ息族"

失恋の当事者ほどあわれなものはない。ましてや一方的にふられたりしたのでは、そのみじめさはひとしおというものである。深まる晩秋の哀れさにも似てただ出るのは涙とため息ばかり……。英国王女マーガレット姫の"世紀の悲恋"が世をわかしたきょうこのころ、洋画畑にこれら"タメ息族"の姿をとらえてみた

ファーリー・グレンジャー

ジョーン・コリンズ

リタ・モレノ

フランク・シナトラ

アニタ・エクベルク

重ね重ねのご愁傷
フラレ男のNO・1グレンジャー
女ではいま売出しのエクベルク

○…目下のところタメ息族ナンバーワンはいまだに独身のファーリー・グレンジャーである。彼が三年前シェリー・ウィンタースに肘すかしくらった話はあまりにも有名だが、つづいてこの夏も終りのころからジョーン・コリンズにチョッカイをかけ始めた。秋風がそよそ吹くころになってやっとかの女を、ご自慢のグレンジャー邸に招待することに成功した。ところが何とコリンズはチャップリン二世のシドニー君とご同道で現われた。それであきらめておけばよかったものを、振られてムキになるのが恋心というものか、面子にかけてもの手練手管がいずれも成功せず、ただゴシップヤーのよきタネに仕込まれただけだった。コリンズは目下離を逃れて生国英国に帰り、夫マクスウェル・リードと正式離婚に成功したとかいうが、ともあれシェリーとの場合はイタリア俳優のガスマンにしてやられるし、今度はイギリス娘にソデというわけで『ファーリーはハリウッド男性のツラよごし』だと騒がれている。

○…目下恋愛中の相手よりもっとすてきな人が見つかって、これまでの相手をポイにする手合は少くない。新人女優シャーリー・ジョーンズが恋人のジョニー・アンダースンの心をふみにじってアリ・カーンの弟サドラッディンに乗りかえ"女心と秋の空"を地でいったかと思うとリタ・モレノもジェフ・ハンターにみきりをつけた。ただ彼女の場合はまだ相手の名が世に知れていないが『わたしは彼のため料理の勉強をはじめたわ』とリタはいそいそしているとか。ところでジェフとリタが親密になった始りは今夏メキシコにロケ中のことだった。仕事は終ってしまったのに二人だけ残って水上スキーなどを楽しんだものだが、秋立つにつれてリタの心は色あせて、最後には『私は体質的にラテン系はきらい』の一言で、ジェフは無念の涙をのみこまねばならなかったのだ。

○…女のふられ族はアニタ・エクベルク。こともあろうに相手はフランク・シナトラであった。大体がアニタは今年めきめきとビッグ・スターにのし上ってきた新人で、とり巻き連の中では特にフランクが第一番のお気に入りであった。その彼女の熱のあげ方にはスタジオ雀もいささか驚いた格好だったが、そこは酢いも甘いも知りつくしたシナトラとあれば、やんわりアニタをあきらめさせて、このごろではアニタも秋の夜にしょんぼり一人でお月さんをながめている次第である。

新劇あらさがし
神話の中に風刺
『アンフィトリオン38』＝(劇団四季)

▽…ギリシャ神話に材をとったフランスの劇作家ジャン・ジロードウの喜劇三幕。翻訳劇といえば、とかく重苦しいドイツ劇が幅を利かし、消化不良なソ連、中国などのイデオロギー劇が横行したりの新劇界で、公式や定理やイデオロギーに頼らず、人生の真実や日常の生活の中に、とかく見失われがちな人間性のデリケートな貴い部分をとり出して見せてくれるジロードウやアヌイなど、フランス現代劇の優れた作品を、次々と精力的に上演しているのは大いに意義のあることだ。

▽…話としては、オリュンポス山の神々が人間と絶えず交渉を持っていた古代ギリシャ、神の王で好色なジュピテル(日下武史)が、その息子、三太夫的でメフィスト的な悪企みもするメルキュール(水島弘)とグルになって、テーベの英雄アンフィトリオン(天本英世)の妻アルクメーヌ(北村業子)を、亭主の姿をかりて一度は犯すが、結局は神の威力にも屈しない貞節さに負け、犯した話もバラさず、夫婦を祝福し、アルクメーヌから友情を受けとって立去る。というと単なる好色話のようでもあるが、個人的野心のためには戦争も起させ、恩恵を施して人妻を寝取ったりする神に権力者の姿を風刺したり、一度知らずに身を委せた神に対し、それとは気付かず、ただ本能的に親しさと不安とを同時に感じとる女心の機微をうがったり、とにかく楽しい芝居である。38という数は古くから語り、書き継がれたこの有名な説話の三十八番目の作品という意味らしい。

▽…さてその舞台だがアルクメーヌの北村にリンとした気品がなくセリフの流れも一本調子なのが残念。天本はこの劇団に初出演だが俳優座の演技の質の違いか、柄も立派、声もいいがまだ周囲と合わない重い感じが気になった。いつもは達者すぎて奥味のあるこんどは適役。衣裳、装置のドギツさは演出(浅利慶太)のランの計算違いのようだ。十四日まで一ツ橋講堂。(雷)

その一場面、天本英世(左)と北村業子

東宝の青春スター で目下

山田真二、運動会で怪我

『若い樹』(演出本多猪四郎)に出演中の山田真二は、十日午後三時ごろ、東宝撮影所が仕事を休んで神宮外苑で開催した運動会に参加、二人三脚の百米レースに出場中、誤って他の組と接触して転倒、鼻のあたま、ひたい、口など数ヵ所に擦過傷および裂傷を負うという事故を起した。直ちに付近の病院で加療後、小石川弥生町の自宅へ送られ休養中だが、全治約二週間の見込み。【写真は山田真二】

東京宝塚劇場十二月公演

宝塚歌劇月組の出演と決定、高木史郎作・演出のグランド・ショウ『ボンジュール・パリ』十六場と内海重典作・演出のグランド・レビュー『虹に歌えば』二十二場を三日初日で二十五日まで上演する。主なる出演者は黒木ひかる、浦島歌女、淡路通子、三鷹恵子、明石照子、美杉てい子、藤波洸子、淀かほる、勝宛美、故里明美、川路立美、筑紫まり、宇治かほるほか。

『ボンジュール・パリ』は高木史郎の佳品『シャンソン・ド・パリ』の続編ともいうべきパリ情緒を盛ったグランド・ショウ。雪組が宝塚大劇場で十月に初演したもの。また『虹に歌えば』はブロードウェイを主題に四つのエピソードを持ったオムニバス・レビューである。

『築友亭』の番組(十一日―十

ボディ・ビルはやる農作でも何にもならぬワイ。

――農林大臣

はと笛

▽…東宝劇場『お軽と勘平』で定九郎のトニー谷は相変らず舞台いっぱいに、人を食った笑いをまきちらしている。とにかく彼氏、台本にもないセリフを思いつきでペラペラッとやるので作者の秦豊吉センセイもはらはら。

▽…先日もフィナーレ近く、戸無瀬の旭輝子と連れだって出てきた途端、でっかい声で『こんなに大入りじゃ、あとで小林一三にご馳走して貰おうじゃないか』とやった。折悪しく? 来合わせていた当の小林社長と秦氏のご両人、負けてならじと『どっこい、大入袋はまだだ、まだだ』と大リキミ。【写真はトニー谷】

私のコレクション ㉟
コケシ
西崎緑(日本舞踊)

(気) 性があらっぽいくせに、いえね、あらっぽいからこそ、こういうしおらしいものが好きなんです』そ の好きがわざわいして、戦争中もこれだけは疎開させずに傍に置いといたものだから、こけしのほかにも、文楽の人形など沢山あったのをみんな灰にしてしまったそうだ。でも戦後また集めだして二百個以上にはなり、その一部が今二階応接間の卓上に、秋の陽ざしをうけ、いかにも主人の愛情に満足顔をチョコナンと並べている。『この子の顔をみて下さい…』とその一つをさしていう彼女は、まるでこけしを人間扱い。二百個などと数えたが、彼女に従えば二百人というべきものなのかもしれない。

(ほ) かの高価な収集とちがって値段が安いということも計算に入っているが、そういいながら『こんなこといっちゃこけしたちに悪いけど』と断る彼女である。昨年西山勝二作の銘入りを手に入れたときも

『作った人が死んだからといってので、どうしても譲ってもらえませんの。私はまた何が何でもほしいし、他に手段がないので、忙しかったんですが、一日中持主のそばにくっつきばなしで、とうとう相手の方を根負けさせました』いやどうも、これは相当なのもだ。これと目をつけたら必ず持って帰ってくるというあたり、好きという以上に彼女の負けん気の性格がうかがわれる。"トンチ教室"の地方勉強などで、良いコケシをみつけたとき、これまた大変。何しろ同じ生徒の石黒敬七や長崎抜天という収集マニア揃いの強敵を相手に丁々発矢と火花を散らさねばならないといった次第だが、彼女自らが集めてくるのは、いわゆるオーソドックスな標準型のものばかり。変り型のこけしは大てい歌劇の生徒とか彼女のお弟子さんたちから贈られたもので、りんご型こけしや原型を失いかけているほど手のこんだ"藤娘"こけしなどもある。こんなのはつまり邪道というべきものだろう。

(こ) の分で行くと、あと二、三年も経てば並べる場所もなくなりそうだなと黙ってながめていたら『そのうち人形のために一部屋作ろうと思ってますの。それを郷土別に分け、その地方の踊りの衣裳も添えて並べるつもりです。そうすれば弟子達もみて、踊りの勉強にも役立ちますからね』と先手を打たれた。さすがは『トンチ…』の常連、感のよさには恐れ入りました。

＝完＝

まるで"子供"扱い
これと思ったら必ず手に入れる執心ぶり

四日)木村重友、浪花亭駒造、甲斐若丸(十五日夜)春日清鶴、広沢虎之助(十六日―十八日)わかの浦孤舟独演会(十九日夜)浮才大会(二十日夜)木村忠衛独演会。

名選 都々逸
石井きんざ選

浮気男を承知で好いた 今さら他人にゃいえぬ愚痴　上野・千両

逢いたさに気ばかりあせって待つ四ツ角の 赤信号のもどかしさ　渋谷・山本邦花

お茶を引く娘がこの頃めっきりふえた ネオンにデフレの高い波　市川・小林清松

出張の留守の長さへ今夜も虫が 二匹鳴いてるやるせなさ　船橋・今井ちさと

帰って見やがれただおくものか 柱時計とにらめっこ　長岡・かつらぎ録

◇

飲む買うの出来ぬ性分歌舞伎が趣味で あたしの理想のよい亭主　選者

谷桃子帰国記念公演 十一、十二日六時、産経ホール『白鳥の湖』全四幕、演出振付谷桃子、美術橋本潔、岡鹿之助、衣裳塩沢沙河、高田信一指揮東フィル、有馬五郎、内田道生、粕屋辰雄、小林恭その他出演。

『日本舞踊道場』開設 会場は文京区本郷公会堂、速成、初等、本科、研究の各科、講師は花柳寿美之輔、徳兵衛、錦之輔、杵屋六左衛門ほか、邦舞、能狂言、理論その他各流専門家参加、教場長田巻敏夫、事務所文京区駕籠町五二。

ラジオ・プログラム 12日(土)

★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
8・05 名曲をたずねて 8・30 私の猫観察記③池部均 9・45 青いノート 10・15 わが家のリズム 11・15 私の本棚 樫村治子	7・30 生命の起源①ソ連化学者 オパーソン 8・30 ヴァイオリン独奏エミル・テルマニー 10・15 不思議の国のアリス	9・35 花ふたたび 9・05 ウツカリ夫人 お心持は判りますがの巻 10・10 名作アルバム 日本橋 11・20 あすなろう物語	7・30 三枝登と楽団 8・10 おしゃべり 楠トシエ 9・30 青春のあるところ 10・10 昔の歌今の歌 11・15 録音安宅の関跡	8・00 サザエさん 市川すみれほか 8・45 お好み歌謡 9・45 劇 田之助紅 10・00 劇 花はもえている
0・30 お笑い三人組①本日開店の巻 猫八 貞鳳 小金馬 音羽美子 友部光子 1・05 婦人の時間 婦人会議その後 多元座談会 2・05 東フィル 指揮 高田信一 ベートヴエン曲英雄	0・30 職場の音楽 1・00 名曲キャビネット 2・00 若手演芸会 木田鶴夫 亀夫 馬太郎 たか志 3・00 ①保名 延寿太夫②吉原雀 伊十郎③地唄 三島 4・00 スウイング・ボーイズ	0・15 アベツク百態 昔々亭桃太郎 1・25 歌 藤沢嵐子 テイピカ東京 1・40 大菩薩峠 桃川如燕 1・55 ヤンキース対全パシフイツク 後楽園球場	0・00 ①数学長屋 玉遊②胴切 金太郎 2・00 マイクの広場 帰らざる漁船 3・30 国木田独歩の病床日記 4・00 ボストンシンフオニー 5・00 株式討論会	0・00 お笑い新作ホール 金語楼の娘じまん 1・15 土曜の歌謡曲 2・30 宝石のかがやき 3・00 相馬大作 春日井梅鶯 4・00 社会特集 人生雑誌を読んで 古谷綱武ほか
6・00 子供劇場 7・30 電話交換手さん二十の扉 レギュラー 藤浦洸 8・00 なつかしのメロデイ 昭和篇 藤山一郎ほか 8・30 とんち教室 玉川一郎 ゲスト 北原文枝 9・15 磯川与助功名噺 東家浦太郎 10・15 猫の皿 志ん生	6・30 独唱 西田寿子 7・00 映画音楽 シヤンソン特集 解説 清水光雄 8・05 合唱 名古屋放送合唱団 8・45 スポーツ・ショウ 9・00 水道橋能楽堂中継 関寺小町 桜間多川 松本謙二ほか 11・00 勉強の出来ない子	6・25 ぴよぴよ大学 7・30 どうしまショウ 8・00 花嫁募集中 草笛光子 8・30 荒神山 広沢虎造 9・10 フロムビア・アワー 9・40 放送劇 尾崎士郎作 雷電 宇野重吉 来島良平 10・15 絵のない絵本 近藤日出造 11・10 第一管絃楽団演奏	6・00 少年宮本武蔵 6・10 陽気な一家 関弘子 小園蓉子ほか 7・30 アベツク歌合戦 トニー谷 石井亀次郎 8・00 素人ジヤズのど自慢 8・30 ユア・ヒツトパレード 9・00 松竹新喜劇 泣き笑い芝居横丁 渋谷天外 9・30 劇 この世の花	6・00 演芸小劇 新山悦郎 春日艶子ほか 7・30 演芸くらぶ シヤンバロー 馬生 8・00 フライング・メロデイ ゲスト 宮城まり子 9・30 新国劇傑作集 月形半平太 辰巳 島田 水戸光子 香川桂子 10・00 歌謡曲